



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日
東

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所
 コード番号 7670 URL http://www.owell.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛戸 克治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 川戸 康晴 (TEL) 06-6473-0138
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	48,159	0.7	467	△52.2	616	△46.0	365	△53.2
2019年3月期第3四半期	47,843	—	976	—	1,142	—	780	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,176百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △453百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	35.32	—
2019年3月期第3四半期	89.31	—

(注) 2018年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	45,800	18,351	39.8
2019年3月期	44,621	17,484	39.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,230百万円 2019年3月期 17,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,500	1.3	850	△32.2	1,000	△29.5	640	△33.1	61.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	10,500,000株	2019年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	156,985株	2019年3月期	156,942株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	10,343,033株	2019年3月期3Q	8,738,238株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動や9月に発生した台風15号の被害により一部地域で企業活動が停滞しました。また年末需要が例年と比べて低迷したことや世界的な自動車販売の低迷、日韓関係の悪化、貿易摩擦の激化などによる世界経済の減速を背景とした輸出減少や設備投資意欲の減退から製造業を中心に弱含み傾向が続きました。海外経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱への懸念から製造業が不調で、弱含み傾向が続きました。これらの傾向は今後も継続すると推測され、国内外の景気動向は、不透明な状況が続いていくと推測されます。

このような経営環境の下で、当社グループは、取引先の課題を明らかにし、その課題を解決するために考動するべく、塗膜品質向上のための塗膜形成に関する課題解決力の向上、新商品開発及び品質保証力の強化、グローバル化への対応を継続しながら、事業基盤の強化、拡大に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は48,159百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は467百万円(前年同期比52.2%減)、経常利益は616百万円(前年同期比46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は365百万円(前年同期比53.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①塗料関連事業

塗料関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産減がありました。また、9月に発生した台風15号の被害によるお客様のライン停止影響から売上減がありました。

その結果、塗料関連事業の売上高は36,790百万円(前年同期比1.5%減)、セグメント利益は1,581百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

②電気・電子部品事業

電気・電子部品事業では、当社子会社であるユニ電子株式会社において、カーナビゲーションソフトウェアの販売が好調に推移したものの、米中貿易摩擦の影響を受け、車載モジュールが出荷減となりました。また、主要商品であるホールICについて、中国市場向けの受注減と、外貨建て取引における為替相場において円高ユーロ安に推移した結果、利益が減少しました。

その結果、電気・電子部品事業の売上高は11,368百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は139百万円(前年同期比68.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の30,975百万円に比べ318百万円(1.0%)減少し、30,656百万円となりました。その主な内訳は、たな卸資産が900百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,175百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の13,646百万円に比べ1,498百万円(11.0%)増加し、15,144百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が1,323百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の22,187百万円に比べ151百万円(0.7%)減少し、22,035百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が163百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,949百万円に比べ464百万円(9.4%)増加し、5,414百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が444百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大について、現時点で当社への影響額等を見通すことは困難なことから、2019年11月12日に開示致しました「2020年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値を、変更しておりません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,964	6,256
受取手形及び売掛金	15,006	13,831
電子記録債権	3,555	4,207
たな卸資産	4,773	5,674
その他	688	700
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	30,975	30,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,190	1,250
機械装置及び運搬具（純額）	87	79
工具、器具及び備品（純額）	89	80
土地	1,968	1,968
リース資産（純額）	18	55
建設仮勘定	7	36
有形固定資産合計	3,362	3,471
無形固定資産		
ソフトウェア	68	80
のれん	35	25
その他	38	40
無形固定資産合計	141	146
投資その他の資産		
投資有価証券	9,560	10,884
長期貸付金	81	73
退職給付に係る資産	93	164
繰延税金資産	92	89
その他	383	382
貸倒引当金	△69	△68
投資その他の資産合計	10,141	11,525
固定資産合計	13,646	15,144
資産合計	44,621	45,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,256	18,092
短期借入金	2,130	2,202
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	205	26
賞与引当金	438	245
品質保証引当金	21	36
その他	1,084	1,381
流動負債合計	22,187	22,035
固定負債		
長期借入金	2,300	2,300
退職給付に係る負債	148	158
役員退職慰労引当金	78	83
繰延税金負債	2,129	2,574
資産除去債務	45	45
その他	248	253
固定負債合計	4,949	5,414
負債合計	27,136	27,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	760	760
利益剰余金	10,729	10,784
自己株式	△87	△87
株主資本合計	12,259	12,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,091	5,965
繰延ヘッジ損益	7	△15
為替換算調整勘定	21	△35
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	5,121	5,915
非支配株主持分	104	120
純資産合計	17,484	18,351
負債純資産合計	44,621	45,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	47,843	48,159
売上原価	41,432	42,220
売上総利益	6,410	5,938
販売費及び一般管理費	5,434	5,471
営業利益	976	467
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	190	189
その他	64	32
営業外収益合計	257	224
営業外費用		
支払利息	29	29
持分法による投資損失	9	2
為替差損	22	25
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	29	17
営業外費用合計	90	75
経常利益	1,142	616
特別損失		
固定資産除却損	—	5
災害による損失	—	39
特別損失合計	—	45
税金等調整前四半期純利益	1,142	571
法人税、住民税及び事業税	230	116
法人税等調整額	126	75
法人税等合計	357	191
四半期純利益	785	379
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	780	365

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	785	379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,198	874
繰延ヘッジ損益	9	△22
為替換算調整勘定	△27	△56
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	1
その他の包括利益合計	△1,239	796
四半期包括利益	△453	1,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△459	1,159
非支配株主に係る四半期包括利益	5	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より海外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「リース資産(純額)」が38百万円、流動負債の「その他」が22百万円、固定負債の「その他」が16百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,363	10,480	47,843	—	47,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	332	367	△367	—
計	37,397	10,812	48,210	△367	47,843
セグメント利益	1,747	442	2,189	△1,213	976

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,213百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,790	11,368	48,159	—	48,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39	378	417	△417	—
計	36,829	11,747	48,576	△417	48,159
セグメント利益	1,581	139	1,720	△1,253	467

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,253百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。